

平成 22 年 度

男鹿市財政援助団体等監査結果報告書

男 鹿 市 監 査 委 員

監 第 27 号
平成22年8月24日

男 鹿 市 長 渡 部 幸 男
男鹿市議会議長 吉 田 清 孝 様
男鹿市教育委員会委員長 目 黒 恵 子

男鹿市監査委員 湊 忠 雄

男鹿市監査委員 笹 川 圭 光

財政援助団体等監査の結果について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、平成22年度の財政援助団体等
監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

目 次

I 監査の対象団体と執行年月日	1
II 監査の着眼点	3
III 監査の方法	3
IV 監査の結果	3
(監査対象団体)	
・寒風山まつり実行委員会	4
・(社) 男鹿市観光協会	5
・(社) 男鹿市シルバー人材センター	6
・男鹿市物産開発促進協議会	7
・秋田県漁業共同組合(北浦総括支所)	8
・男鹿森林組合	9
・男鹿森林組合	10
・男鹿市社会福祉協議会	11
・(社) 男鹿偕生会	12
・男鹿駅伝競走大会実行委員会	13
・男鹿市総合型地域スポーツクラブ	14
・男鹿市校長会	15
・馬生目納税貯蓄組合ほか69組合	16
・男鹿市民憲章推進協議会	17
・統人行事保存会	18
(指定管理施設)	
・サンワーク男鹿・男鹿トレーニングセンター	19
・夕陽温泉WAO	20
・温浴ランドおが	21

I 監査の対象団体と執行年月日

平成22年度の財政援助団体等監査については、平成21年度に市が財政的援助を与えた団体（財政援助団体）の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

財政援助団体名	補助金の名称	交付額（円）	所管課所名	執行年月日
寒風山まつり 実行委員会	寒風山まつり補助金	1,750,000	観光商工課	平成22年 6月29日
(社)男鹿市観光協会	西海岸誘客事業補助金	2,485,000		
(社)男鹿市シルバー 人材センター	(社)男鹿市シルバー 人材センター 補助金	15,500,000		
男鹿市物産開発 促進協議会	男鹿市地域特産品開発 等推進事業費補助金	1,300,000		
秋田県漁業共同組合 (北浦総括支所)	ヒラメ稚魚購入費 補助金	270,000	農林水産課	平成22年 6月30日
男鹿森林組合	間伐材有効活用 事業費補助金	243,180		
	森林整備 推進費補助金	892,203		
男鹿市社会福祉 協議会	男鹿市社会福祉 協議会事業費補助金	16,327,000	福祉事務所	
(社)男鹿偕生会	ディサービスセンター 施設建設事業補助金	1,918,960		
男鹿駅伝競走大会 実行委員会	男鹿駅伝競走大会 補助金	5,300,000	スポーツ振興課	
男鹿市総合型地域 スポーツクラブ	男鹿市総合型地域 スポーツクラブ 補助金	300,000		
男鹿市校長会	男鹿市校長会補助金	669,000		
馬生目納税貯蓄組合 ほか69組合	納税貯蓄組合 事務費補助金	3,227,870	税務課	
男鹿市民憲章 推進協議会	男鹿市民憲章 推進協議会補助金	1,191,000	生涯学習課	平成22年 7月1日
統人行事保存会	重要無形民俗文化財 保存・伝承活動費補助金	500,000		

平成21年度に市が指定管理を行わせた団体の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

指 定 管 理 者 名	指定管理の名称	指定管理料 (円)	所 管 課 所 名	執 行 年 月 日
(社)男鹿市シルバー 人 材 セ ン タ ー	サンワーク男鹿及び 男鹿市トレーニング セ ン タ ー の 管 理	12,914,748	観 光 商 工 課	平成22年 6月29日
(株)お が 地 域 振 興 公 社	夕 陽 温 泉 W A O の 管 理	28,326,000		
	温 浴 ラ ン ド お が の 管 理	22,100,000		

平成21年度に市が指定管理を行わせた団体及び財政援助団体の中から次の団体を抽出し、実地監査を実施した。

指 定 管 理 者 名	指定管理の名称	指定管理料 (円)	実 施 場 所	執 行 年 月 日
(株)お が 地 域 振 興 公 社	夕 陽 温 泉 W A O の 管 理	28,326,000	温浴ランドおが	平成22年 7月 1日
	温 浴 ラ ン ド お が の 管 理	22,100,000		
財 政 援 助 団 体 名	補助金の名称	交付額 (円)	実 施 場 所	
男 鹿 森 林 組 合	間 伐 材 有 効 活 用 事 業 費 補 助 金	243,180	男鹿森林組合	
	森 林 整 備 推 進 費 補 助 金	892,203		
	出資に係る出納等の監査			

II 監査の着眼点

当該財政援助等に係る出納その他の事務の執行状況について、次の点に主眼をおいて実施した。

(補助金関係)

- ① 財政援助団体及び所管する各課の補助金交付手続が条例、規則、要綱等に基づき適正に行われているか。
- ② 補助金は交付目的に沿って適正に執行されているか。
- ③ 補助金に係る会計処理は適正であるか。
- ④ 会計処理上の責任体制は明確であるか。

(指定管理関係)

- ① 指定管理者及び所管する各課の協定手続が条例、規則、要綱等に基づき適正に行われているか。
- ② 指定管理業務に係る会計処理及び施設管理は適正であるか。
- ③ 施設の利用状況について。

III 監査の方法

監査は所管課にあらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、監査委員事務局において補助金については交付決定に関する原議書類、実績報告書及び決算書の関係書類、また指定管理者については協定に関する書類、事業報告、及び決算に関する書類を監査するとともに、担当職員の説明を聴取した。

平成22年度は所管課の監査のほか、財政援助団体及び指定管理者の出納が適正に処理されているか、補助金及び指定管理料が目的に沿って運用され、住民福祉の面から十分な効果を発揮しているか検証するため、実地監査も行った。

IV 監査の結果

補助金・指定管理料は、総括的にその目的に沿って管理、執行されており、出納その他の事務は概ね適正に処理されているものと認められた。

以下、財政援助団体、指定管理者ごとの監査内容は次のとおりである。

寒風山まつり実行委員会

1 補助金の名称

寒風山まつり補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	1,750,000 円
財 源 (一般財源)	1,750,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

観光客と市民とのふれあいの場を創出し、市民総参加のまつりを通じ、観光の振興と地域産業の発展に努める。

5 事業概要と効果

平成 21 年度は、9 月 20 日から 22 日の 3 日間の日程で開催し、寒風山ぐるっとハイキング、パラグライダーの体験飛行、クイズ大会、カラオケのど自慢等のイベントや男鹿半島観光大使の演歌歌手「北山たけし」氏による歌謡ショー等を開催し期間中、見物客など約 2 万 8 千人の人出で賑わい、経済効果もあったものと思われる。

6 事業収入、支出の状況

収 入	3,488,663 円 (市補助金の比率 50.2%)
支 出	3,335,422 円
差 引	153,241 円

7 所 見

各種イベントの開催や歌謡ショー、フリーマーケットの開催などにより、観光客、参加者など約 2 万 8 千人のふれあいの場が創出され、観光の振興と地域産業の発展に努めるといふ補助目的は果たしたものと推量されました。

社団法人 男鹿市観光協会

1 補助金の名称

西海岸誘客事業補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	2,485,000 円
財 源 (一般財源)	2,485,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市産業建設部観光商工課補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

海上遊覧船の定期運航等による西海岸の観光コースの充実と誘客を図る。

5 事業概要と効果

西海岸観光誘客の基軸となる海上遊覧船定期運航に対する支援及び利用促進のためのパック商品や宿泊特典プランの造成と広報宣伝活動により、西海岸の誘客が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,510,000 円	(市補助金の比率 99.0%)
支 出	2,510,000 円	
差 引	0 円	

7 所 見

海上遊覧船の定期運航により、西海岸の観光コースの充実が図られた。また、男鹿水族館G A Oと遊覧船とのパック商品の造成や市内宿泊施設特典プランの設定により、観光客が割引料金で利用できるよう工夫するなど、宿泊客の利用促進に努めており、補助目的は果たしたものと推量されました。

今後は、西海岸の魅力をさらに高めるため重要文化財である五社堂も観光スポットに取り入れるよう要望しました。

社団法人 男鹿市シルバー人材センター

1 補助金の名称

(社) 男鹿市シルバー人材センター事業費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	15,500,000 円
財 源 (一般財源)	15,500,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市高年齢者就業機会確保事業費等補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

高年齢者の就業機会の増大と社会福祉の増進を図るため、その事業を行う団体に対し補助金を交付し高年齢者就業機会確保事業を推進する。

5 事業概要と効果

- ・会員数 458 人
 - ・就業率 86.2%
 - ・企画提案方式の事業の推進 ・シルバー派遣事業の導入
 - ・シニアワーク・プログラム事業の継続
 - ・無料職業紹介事業の継続 ・適正安全就業の徹底
 - ・ボランティア活動の推進と互助会活動の充実
- 事業実施により高年齢者の就業機会が確保された。

6 事業収入、支出の状況

収 入	163,676,176 円 (市補助金の比率 9.5%)
支 出	165,212,312 円
差 引	△1,536,136 円

7 所 見

高年齢者就業機会確保事業の実施により、高年齢者の社会参加の推進と生きがいづくりの高揚に努めるとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与しており、補助目的は果たしたものと推量されました。

男鹿市物産開発促進協議会

1 補助金の名称

男鹿市地域特産品開発等推進事業費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	1,300,000 円
財 源 (一般財源)	1,300,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市地域特産品開発等推進事業費補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

市内で生産されている農林水産物等の加工品及び民芸品の見直しや新商品の開発、販路の拡大、人材育成等を行い特産品として定着を図る。

5 事業概要と効果

○市場開拓事業

- ・「旬・由利郷となまはげの郷・男鹿」観光キャンペーン参加
- ・第33回春日井まつり物産展参加
- ・北前船寄港地物産フェア参加
- ・味楽来便パンフレット作成

県外の物産展等において男鹿の物産を販売し、市場開拓と販路拡大に努めた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	5,430,342 円 (市補助金の比率 23.9%)
支 出	5,225,123 円
差 引	205,219 円

7 所 見

男鹿の特産品の市場開拓や販路拡大によって地域産業の振興が図られ、一部成果が得られているものと推量しますが、この補助目的は地域特産品の新商品を開発することを目的のひとつとしていることから、もっと商品開発に力を入れて新商品を男鹿半島味楽来便の品目に追加できるよう要望しました。

秋田県漁業協同組合（北浦総括支所）

1 補助金の名称

ヒラメ稚魚購入費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	270,000 円
財 源 (一般財源)	270,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市農林水産関係補助金等交付要綱

4 補助金の交付目的

養殖漁業の定着促進により、養殖漁業者の所得向上と経営の安定を図る。

5 事業概要と効果

- ・ 養殖場所 戸賀湾内
 - ・ 稚魚購入数 2,700 匹
- ヒラメの稚魚を放流することにより、養殖漁業の定着化が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	540,000 円 (市補助金の比率 50.0%)
支 出	540,000 円
差 引	0 円

7 所 見

ヒラメの稚魚放流により、養殖漁業者の経営の安定が図られたことから、補助目的は果たしていると推量します。今後は、ヒラメの市場価格の状況を把握しながら、より効果が上がり、収入に結びつくような事業として定着させ、新たな養殖漁業後継者が出来るよう要望しました。

男 鹿 森 林 組 合

1 補助金の名称

間伐材有効活用事業費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	243,180 円
財 源 (一般財源)	243,180 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市農林水産関係補助金等交付要綱

4 補助金の交付目的

切捨間伐から利用間伐への移行を推進し、間伐材の有効活用を図る。

5 事業概要と効果

・間伐材運搬	寒風山麓線	51.930 m ³
・間伐材運搬	脇本百川地内	100.058 m ³
合 計		151.988 m ³
・秋田プライウッド運搬分	847 本	104.970 m ³
・フォレスト秋田運搬分	903 本	47.018 m ³
合 計		151.988 m ³

上記の間伐材の有効活用が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	486,361 円	(市補助金の比率 50.0%)
支 出	486,361 円	
差 引	0 円	

7 所 見

森林所有者の間伐材運搬にかかる費用の半分を補助することにより、切捨間伐から利用間伐への移行が推進され、間伐材の有効活用が図られたことから、補助目的は果たしていると推量します。

しかし、補助内容が市内の業者に運搬した場合を対象としているが、補助要綱に明記されていないので、整備するよう要望しました。

男 鹿 森 林 組 合

1 補助金の名称

森林整備推進費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	892,203 円
財 源 (一般財源)	892,203 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市農林水産関係補助金等交付要綱

4 補助金の交付目的

私有林の整備促進を図る。

5 事業概要と効果

・ 下刈り	32.88ha
・ 間 伐	2.27ha
・ 除 伐	1.01ha
・ 造 林	1.63ha
<hr/>	
合 計	37.79ha

上記の森林整備が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,784,429 円 (市補助金の比率 50.0%)
支 出	1,784,429 円
差 引	0 円

7 所 見

私有林の森林整備に係る個人負担費用を軽減することにより、整備促進が図られたことから、補助目的は果たしていると推量されました。

なお、森林組合へ市が出資していることから、組合の出資に係る出納等について実地監査し、定款、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表を調査した結果、適正に処理されていると認められました。

今後は、出資者に対し配当できるよう要望しました。

男鹿市社会福祉協議会

1 補助金の名称

男鹿市社会福祉協議会事業費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	16,327,000 円
財 源 (一般財源)	16,327,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市社会福祉法人の助成に関する条例及び施行規則

4 補助金の交付目的

社会福祉に関する事業費の一部を補助することにより、社会福祉事業の健全な発展を図る。

5 事業概要と効果

○地域福祉活動事業

- ・高齢者健康生きがいがづくり事業
- ・地域福祉トータルケア推進事業
- ・地区社協活動支援事業
- ・要援護者見守り活動
- ・家族介護者リフレッシュ事業など

○福祉啓発活動推進事業

- ・ボランティアフェスティバル
- ・ボランティア情報の収集、発信、相談
- ・ホームヘルパー養成研修の開催など

○低所得世帯等支援事業

- ・生活福祉資金、離職者支援資金貸付
- ・たすけあい資金貸付
- ・高額療養費貸付など

事業の実施により、高齢者の生きがいと生活の安全、困りごとの問題解決、家族介護者への支援など地域福祉事業等の充実が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	31,650,294 円	(市補助金の比率 51.6%)
支 出	31,650,294 円	
差 引	0 円	

7 所 見

当協議会は、地域に根ざした社会福祉活動の充実に努めており、補助目的は果たしたものと推量されました。

社会福祉法人 男鹿偕生会

1 補助金の名称

ディサービスセンター施設建設事業補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	1,918,960 円
財 源 (一般財源)	1,918,960 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市社会福祉法人の助成に関する条例及び施行規則

4 補助金の交付目的

ディサービスセンター等施設建設事業の借入金の元利償還分の一部を補助することにより、在宅老人福祉対策事業の充実を図る。

5 事業概要と効果

- ・借入金 48,500,000 円
- ・償還期間 平成4年度～平成23年度

かいせいディサービスセンター及び在宅介護支援センター建設事業にかかる、社会福祉・医療事業団等からの借入金等に対する償還財源の一部を補助することにより、在宅老人福祉対策事業の充実が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	2,684,960 円	(市補助金の比率 71.5%)
支 出	2,684,960 円	
差 引	0 円	

7 所 見

当施設のディサービス事業の実施により、在宅老人福祉対策事業の充実が図られ、補助目的は果たしたものと推量されました。

男鹿駅伝競走大会実行委員会

1 補助金の名称

男鹿駅伝競走大会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	5,300,000 円
財 源 (一般財源)	5,300,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

男鹿駅伝競走大会の運営にかかる経費の一部を補助することにより、円滑な競技運営が図られる。

5 事業概要と効果

本大会には、一般44、大学13、高校男子32、高校女子21の計110チームが出場して行われ、宿泊人員は50チーム824人で宿泊料は約824万円と見込まれ、市内各地で燃料の給油、コンビニ、飲食店等の分野で経済効果があったものと思われる。

6 事業収入、支出の状況

収 入	8,900,134 円	(市補助金の比率 59.5%)
支 出	8,418,070 円	
差 引	482,064 円	

7 所 見

男鹿駅伝競走大会は全国規模のスポーツ大会となり、観光地男鹿を広く全国に紹介、宣伝の機会となっており、男鹿の観光振興、地域経済の発展に効果も大きいことから、補助目的は果たしていると推量されました。

しかし、実行委員会でテントなどの備品を購入しているが、備品台帳が整備されていないことから、購入物品、耐用年数により廃棄した物品が明確になるよう台帳整備を要望しました。

男鹿市総合型地域スポーツクラブ

1 補助金の名称

男鹿市総合型地域スポーツクラブ補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	300,000 円
財 源 (一般財源)	300,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

男鹿市総合型地域スポーツクラブ会員の活動費として補助することにより、各種スポーツの普及が図られる。

5 事業概要と効果

- ・運営委員会の開催 7回
- ・中央地区総合型地域スポーツクラブ交流会
- ・各種教室の開催（バスケットボール、バレーボール、サッカー、ラグビー、ユニバーサルホッケー、ウォーキング、健康教室、ミニテニス）により、スポーツ活動を通じた地域社会のコミュニティづくりに努めた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	885,705 円	(市補助金の比率 33.9%)
支 出	593,982 円	
差 引	291,723 円	

7 所 見

男鹿市体育協会等と連携し、子供から高齢者までの多世代にわたる市民が自分に興味や興味のあるスポーツを気軽に楽しく親しむことができ、活動を通してのクラブ会員の交流とスポーツの普及振興が図られたことから、補助目的は果たしたものと推量されました。

男 鹿 市 校 長 会

1 補助金の名称

男鹿市校長会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	669,000 円
財 源 (一般財源)	669,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

計画的、組織的に研究活動を行い、教育的諸活動の充実強化を図り、教職員の資質向上並びに市の教育振興に努める。

5 事業概要と効果

- ・各研修部会の開催
- ・教育に関する調査研究及び校長会誌「潮ざい」の発行
- ・課題研究会（2日間）
- ・関係機関との連絡調整

研修会及び研究会の開催により、市内小中学校教職員の資質向上が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,281,321 円	(市補助金の比率 52.2%)
支 出	1,280,931 円	
差 引	390 円	

7 所 見

各研修部の計画的、組織的な研究活動により、各校の相互協力や教職員の能力向上さらには本市の教育振興に努めるという補助目的は果たしたものと推量されました。

馬生目納税貯蓄組合ほか69組合

1 補助金の名称

男鹿市納税貯蓄組合事務費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	3,227,870 円
財 源 (一般財源)	3,227,870 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市納税貯蓄組合補助金等に関する規程

4 補助金の交付目的

納税貯蓄組合の設立促進及び健全な発展を図り、市税の納期内及び年度内納付の向上に期する。

5 事業概要と効果

各組合とも年一回の総会、役員会、研修会を開催し、未納組合員に対する納付指導・督励等を行い納付率の向上に努めた。

平成20年度収納実績 (平成21年度補助金は平成20年度収納実績による)

一般税 272,377,000 円

国保税 204,957,000 円

年度内納付率 95.52%

6 事業収入、支出の状況

収 入 3,793,557 円 (市補助金の比率 85.1%)

支 出 3,793,557 円

差 引 0 円

7 所 見

各組合とも年1回の総会等を開催し、納税思想の普及に努めるとともに、未納組合員に対する納付指導・督励等を行い、平成20年度の全組合の収納実績は、一般税、国民健康保険税合わせて4億7千7百33万円となっており、補助目的は果たしていると推量されました。

男鹿市民憲章推進協議会

1 補助金の名称

男鹿市民憲章推進協議会補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	1,191,000 円
財 源 (一般財源)	1,191,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

市民憲章の推進及び実践活動に対する補助。

5 事業概要と効果

- ・全市一斉クリーンアップ、八郎湖クリーンアップへの参加
- ・花いっぱい運動花苗の配布
- ・市庁舎前へのプランター設置 (45個)
- ・移動研修会の実施
- ・第5回児童生徒発明工夫展の開催 (展示16点)

市民憲章は日常生活における行動の中で実践する基本的な指標であり、その中の花いっぱい運動など郷土を美しくする運動を展開することにより、自然愛護の心を醸成する効果をあげている。

6 事業収入、支出の状況

収 入	1,310,210 円	(市補助金の比率 90.9%)
支 出	1,289,875 円	
差 引	20,335 円	

7 所 見

自然愛護と郷土を美しくする運動の一環として、花の苗の配布や市庁舎前へプランターを設置し、花いっぱい運動を実施するなど、自然愛護と郷土美化意識の向上に努めており、補助目的は果たしていると推量されました。

統 人 行 事 保 存 会

1 補助金の名称

重要無形民俗文化財保存・伝承活動費補助金

2 補助金の交付額及び財源

交 付 額	500,000 円
財 源 (一般財源)	500,000 円

3 補助金の交付根拠条例等

男鹿市教育委員会補助金交付要綱

4 補助金の交付目的

重要無形民俗文化財の保存・伝承と伝統文化を活かした地域振興を図る。

5 事業概要と効果

毎年7月7日に行われる船越水道での「くも舞」、天王側の「牛乗り」は東湖八坂神社の祭事に併せて行われており、東湖八坂神社祭のトウニン(統人)行事として重要無形民俗文化財に指定されている。この行事を保存・伝承することにより、郷土への誇りと郷土愛が育まれるとともに地域の振興が図られた。

6 事業収入、支出の状況

収 入	930,307 円	(市補助金の比率 53.7%)
支 出	837,031 円	
差 引	93,276 円	

7 所 見

伝統ある統人行事の保存・伝承に努めるとともに後継者の育成も図っており、補助目的は果たしていると推量されました。

サンワーク男鹿及び男鹿市トレーニングセンター (指 定 管 理 者)

1 根拠条例

男鹿市サンワーク男鹿条例及び男鹿市トレーニングセンター条例

2 指定管理料

金 額	12,914,748 円
財 源	一 般 財 源

3 管理に関する協定等

サンワーク男鹿及び男鹿市トレーニングセンターの管理に関する基本協定書
サンワーク男鹿及び男鹿市トレーニングセンターの管理に関する年度協定書

4 管理の対象業務

- (1) 使用の許可及び使用の制限
- (2) 使用料の徴収
- (3) 施設及び設備の維持管理
- (4) 勤労者等に対する教養、文化、研修、スポーツ等の活動の場の提供

5 利用料金

男鹿市サンワーク男鹿条例、男鹿市トレーニングセンター条例による。

6 事業の概要

○ サンワーク男鹿

(勤労者等に対する教養、文化、研修、スポーツ等活動の場の提供)

教養文化室利用者数	2,029 人	会議室利用者数	2,054 人
研修室利用者数	1,832 人	体育室利用者数	13,499 人
情報展示室利用者数	10,436 人	合 計	29,850 人

○ 男鹿市トレーニングセンター

(市民の健康維持増進と心身の健全な発展を図る)

トレーニングセンター利用者数 3,807 人

7 事業の収入と支出の状況

収 入	12,944,326 円	支 出	12,905,772 円
差 引	38,554 円		

8 所 見

勤労者等に対し、レクリエーション及びスポーツ活動の場として提供するとともにスポーツ教室や健康体操といった自主事業を行うなど、適切な管理運営をされていると推量します。

夕陽温泉W A O

(指 定 管 理 者)

1 根拠条例

男鹿市若美温泉保養施設条例

2 指定管理料

金 額	28,326,000 円
財 源	一 般 財 源

3 管理に関する協定等

夕陽温泉W A Oの管理に関する基本協定書
夕陽温泉W A Oの管理に関する年度協定書及び変更協定書

4 管理の対象業務

- (1) 保養施設の利用の許可及び利用の制限等
- (2) 保養施設の施設及び設備の維持管理

5 利用料金

男鹿市若美温泉保養施設条例による。

6 事業の概要

夕陽温泉W A Oを適正かつ円滑に管理し、地域住民等の健康及び福祉の増進を図る。

入館者数 88,479 人

7 事業の収入と支出の状況

収 入	70,778,795 円	支 出	69,263,277 円
差 引	1,515,518 円		

8 所 見

地域住民の健康及び福祉の増進を図る場としての役割を担うとともに、平成21年度の利用者数は88,479人と前年度と比較して5,944人の増となり、決算も黒字決算となっていることから、適正な管理がされていると推量されました。

なお、今年度は所管課の監査のほかに指定管理者の出納が適正に処理されているか、指定管理料が目的に沿って運用され、住民福祉の面から十分な効果を発揮しているか検証するため実地監査も行い、定款、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表を調査した結果、適正に処理されていると認められました。

温浴ランドおが (指定管理者)

1 根拠条例

男鹿市温浴ランドおが条例

2 指定管理料

金額	22,100,000 円
財源	一般財源

3 管理に関する協定等

温浴ランドおがの管理に関する基本協定書
温浴ランドおがの管理に関する年度協定書

4 管理の対象業務

(1) 温浴ランドの利用の許可及び利用の制限等
(2) 温浴ランドの施設及び設備の維持管理

5 利用料金

男鹿市温浴ランドおが条例による。

6 事業の概要

温浴ランドおがを適正かつ円滑に管理し、住民の健康と福祉の増進並びに交流の促進を図る。

入館者数 96,208 人

7 事業の収入と支出の状況

収入	76,919,506 円	支出	76,126,791 円
差引	792,715 円		

8 所見

入館者数が前年度と比較して 3,882 人の減となったが、施設の設置目的である住民の健康及び福祉の増進を図るため、適正に管理されていると推量されました。

なお、今年度は所管課の監査のほかに指定管理者の出納が適正に処理されているか、指定管理料が目的に沿って運用され、住民福祉の面から十分な効果を発揮しているか検証するため実地監査も行い、定款、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表を調査した結果、適正に処理されていると認められました。